

## 地蔵崎

大山隠岐国立公園の島根半島エリアの東端に位置する地蔵崎では、晴れた日に、隠岐諸島や日本海の素晴らしい景色を楽しむことができます。地蔵崎の北東約 3km 先には、「沖の御前島」と呼ばれる小島があります。沖の御前島は、8 世紀の初めに編纂された、島根半島の形成と出雲の地方文化と伝説を記した「出雲国風土記」には「等々島」として記録されています。この中の神話には、三保神社の神、事代主命が等々島で釣りを楽しんだことが述べられています。今も、沖の御前島の周辺は絶好の釣り場として知られています。現在、境港と隠岐諸島の間を運行する船が、この島と地蔵崎の間を通過します。

地蔵崎は、島根半島・宍道湖中海ジオパークエリア内にあります。